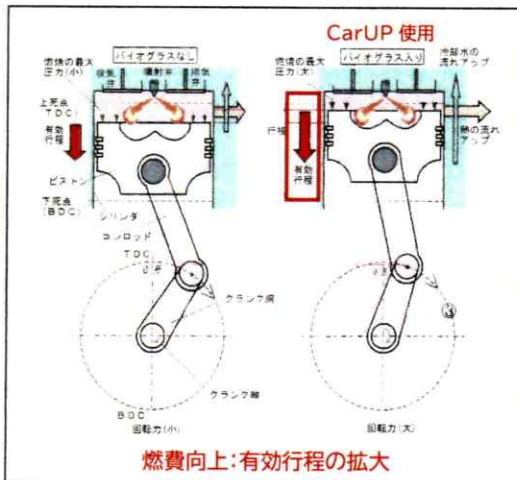


「CarUP」の理論

バイオガラスの特性：超親水特性⇒冷却水の粒子が極めて小さくなる・遠赤外線特性等⇒冷却水の粘度が低下する。



久留米工業大学渡邊孝司名誉教授(工学博士・退職時副学長)

自動車学術講演会発表

1. 冷却水経路の抵抗が減少する。
2. 冷却水の流れが速くなる。
3. シリンダーヘッドの冷却促進。(8~12℃)
4. 酸素が急激に吸入される。
5. 完全燃焼に近づく。



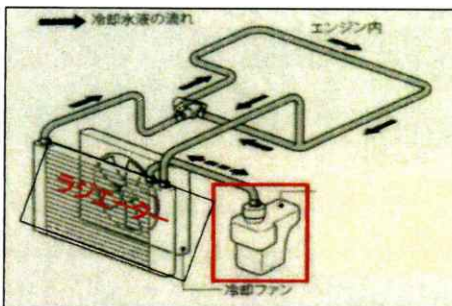
BG:大手食品メーカーの依頼で開発

<定説>

ラジエーターによる冷却損失約28~30%:無駄を減らすかが課題(CarUP 実現)

「CarUP」の使用方法

ラジエーターの補助タンクに入れるだけ



- ・CarUP 挿入後200km以上走行すると、バイオガラスの特性が冷却水に徐々に反映(車種により多少バラツキがあります)され、効果を発揮してきます。
- ・市街地の場合、暫く効果が実感できない場合がありますが、時間の経過とともに、発揮されてきます。
- ・高速走行では、早めに効果が実感できます。
- ・エンジンをかけたまま、休憩等アイドリングを多用した場合、走行距離と燃料消費量が連動致しません。従いまして、正確なkm/ℓが得られない場合があります。

CO2排出量の計算式 驚きの数値です



$$\boxed{} \ell \times \text{係数} = \boxed{} \text{ kg}$$

2ℓペットボトルに換算すると

$$\text{Kg} \times 254.5 (\text{係数}) = \boxed{} \text{ 本}$$

係数

ガソリン: 2.32

軽油: 2.62

LPG: 3.00

(例)ガソリン100ℓ節約の場合

$$100\ell \times 2.32 = 232\text{kg 削減}$$

2ℓペットボトルに換算すると

$$232\text{kg} \times 254.5 = 59,044\text{本削減}$$

自然から借りた空気は・綺麗にして・自然に返しましょう!